



平成23年3月11日
日本原子力発電株式会社

宮城県沖地震における東海第二発電所の原子炉自動停止について (3月11日16時現在の状況)

発生の状況

- ・本日、発生した宮城県沖を震源とした地震により、定格熱出力一定運転中の東海第二発電所（沸騰水型軽水炉：定格電気出力110万キロワット）の原子炉が自動停止しました。
なお、敦賀発電所（1号機：定期検査中、2号機：定格熱出力一定運転中）は異常ありません。

現在の発電所の状況は以下のとおりです。

1. 原子炉施設等の状況

- ・原子炉は、14時48分、安全に自動停止しました。
- ・15時10分に原子炉の未臨界を確認しました。
- ・原子炉の自動停止により、タービン発電機も安全に停止しています。
- ・通常の給水系が使えない時に炉心を冷却する機器（高圧炉心スプレイ系及び原子炉隔離時冷却系）により原子炉は安全に冷却されています。

2. 周辺環境への放射能の影響

- ・放射能の漏えい等の発生はありません。
- ・モニタリングポストなど、環境放射線モニターの指示の変化はなく、外部への放射能の影響はありません。
- ・今後も引き続き監視してまいります。

3. 災害の発生の状況

- ・火災および人身災害の発生はありません。

4. 電源系統

- ・現在、常用の外部電源は停止中です。非常用ディーゼル発電機3基全台が運転中で、必要な電源を供給中です。

5. 津波による影響

- ・ 現在、津波による影響については調査中です。
- ・ 発電所敷地内の海岸沿からの避難は完了しております。

6. 今後の対応

- ・ 地震による原子炉施設への影響について、現在調査を行っております。状況がわかり次第随時お知らせいたします。

以 上